

大使挨拶（２０２２年新年）



令和４年、２０２２年を迎え、皆様には心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は私にとって当地在勤最初の年であるとともに、我が国と当国との外交関係樹立２５周年という記念の年でありました。

しかしながら年の前半はコロナ・ウィルスの感染が世界的に拡大していたこともあり、２月に予定していた天皇陛下誕生日祝賀レセプションをはじめ、多くの行事が中止ないしは延期を余儀なくされました。

その中でも３月には長年の両国関係の強化に尽力を頂いたツルノゴラツ当国柔道連盟会長に対し、我が国より勲章を授与させていただきました。

また５月には２３年ぶりとなる我が国の外務大臣の公式訪問が実現し、茂木大臣とトゥルコビッチ大臣との間で今後の両国関係の更なる発展の基礎となる外相会談が実施されました。茂木大臣と当国大統領評議会３メンバーとの間においても貴重な意見交換が行われました。

同大臣の訪問後、私自身これまで実施ができなかった主要地方都市訪問に加え、主要政党・宗教界・経済界代表との意見交換を精力的に行って参りました。

７月から９月にかけて開催された東京オリンピック・パラリンピックにおいては当国選手団が活躍され、秋に入ってから柔道トーナメントや日本文化イベントが続いて開催されたほか、地方都市において我が国の草の根無償資金協

カプロジェクトの供与式がいくつかの都市で実施されました。

また長年にわたり学術・文化交流促進に尽力を頂いたシュクルビッチ・バニャ・ルカ大学医学部教授に対し、我が国の外務大臣表彰を実施させていただいたほか、日本語教育・両国文化交流に尽力を頂いたジェキチ氏、「帰国留学生の会」に対してはそれぞれ在外公館長表彰を授与させていただきました。

昨年末の新たなコロナ変異種の発生に伴い、今後の状況を見通すことは難しくなっておりますが、なんとか本年の早い段階で状況が改善し、昨年実施が難しかった多くの行事を両国外交関係樹立「25+1」年イベントとして実施できればと切に願っております。

引き続き皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年・2022年1月1日
在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使
伊藤 眞